

國學院大學學術情報リポジトリ

East Asian Network for the Academic Study of
Esotericism (EANASE) 共催研究会 Pedagogy and
Esotericism

「オカルト及び秘教を大学生にどのように教えるか
」（共催）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001561

East Asian Network for the Academic Study of Esotericism (EANASE) 共催研究会 Pedagogy and Esotericism

「オカルト及び^{エソテリシズム}秘教を大学生にどのように教えるか」(共催)

東アジア秘教学術研究ネットワーク (EANASE) との共催研究会が実施されたので報告する。

【日時】2023年9月20日(水) 14:00~17:30

【場所】國學院大學渋谷キャンパス 6号館地下1階 6 B11教室

【発表者・題目】

発表①Julian Strube, (University of Vienna) “Esotericism and Politics in Academic Education and Public Discourse” ユリアン・シュトゥルーベ (ウィーン大学) 「大学教育と公的言説におけるエソテリシズムと政治性」

発表②Orion Klautau (Tohoku University) “Teaching about the ‘Occult’ in a Japanese Public University: Historiographical Challenges” オリオン・クラウタウ (東北大学) 「日本の国公立大学で〈オカルト〉を教える——歴史叙述上の課題」

発表③Shiho Hamano (Chiba Institute of Technology) “Talking about Ghosts with Engineering Students” 浜野志保 (千葉工業大学) 「工学部の学生と幽霊の話をする」

発表④Liana Saif (University of Amsterdam) “The Pedagogy of Islamic Esotericism: Between the ‘Islamization of Knowledge’ and Perennialism” ライアナ・セイフ (アムステルダム大学) 「イスラム秘教の教授法——〈知識のイスラム化〉と永遠主義の間」

【司会】Ioannis Gaitanidis ヤニス・ガイタニディス (千葉大学)

【形式・言語】対面とオンライン併用・使用言語: 英語

EANASEは、2016~20年に活動していた Japanese Network for the Academic Study of Esotericism (JNASE) の後続にあたるオカルトやエソテリシズムに関心のある東アジアの研究者を中心としたネットワークである。同会は、国籍や研究機関の所属の有無に関わりなくメンバーを募っており、本研究会でも、オカルト・心靈写真・占い・霊能といった不可思議な現象をいかに大学生に教えるかというテーマのもと、ヨーロッパと日本で教鞭をとる4名の研究者が発表した。

①ユリアン発表は、ドイツとオーストリアにおけるエソテリシズムと極右思想の関係を説明し、メディアと公教育の現場での実体験、日本のオカルト文化との関係性を述べた。②オリオン発表は、近現代のオカルティズムに関する東北大学での講義のシラバスを例示し、映画を用いた教育方法や学生の関心がどのようなものかを示した。③浜野発表は、人文学に対して必要性を感じない場合が多い工学部の学生に対する「非科学的」な幽霊の説明を通じて、柔軟な考え方を教育する方法を示唆した。④ライアナ発表は、イスラム世界の統合を目指す20世紀の「汎イスラム主義運動」において、エソテリシズムを拒絶・包摂・中心化した3名の活動家の思想を検討した。

各発表後に質疑応答が行われ、最後に全体討論が実施された。会場とオンラインで世界各地の参会者から質問が寄せられ、関心の高さがうかがえた。

(武井謙悟)